

第6回木津川市総合計画審議会

会 議 次 第

〔開催日時：平成20年6月11日(水)
午前9時30分から
場 所：木津川市役所第2会議室〕

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議 事

(1) 審議事項

①総合計画（基本計画）について

4. その他

(1) 次回審議会開催日程について

(2) その他

5. 閉 会

第5回総合計画審議会における主な意見等について

1 第1章「個性を活かした魅力ある地域文化の創造」に関する意見等

(1) 歴史文化の保全・継承

- ①歴史と文化について強調されているが、木津川、水辺、里山等の自然環境の良さも地域文化を創造する上で大きな要素である。
- ②自然と文化は切り離すことができないものである。渾然一体となって、現在の生活に息づいている。
- ③歴史の杜ゾーンの保全と活用の部分について、将来都市構造図では歴史の杜ゾーンとして3箇所が示されているが、施策としては、当尾地域における施策のみとなっている。
- ④近代遺産としての大仏線の位置付けと保全と活用について、中央地区開発との関係もあると思うが、記述する必要があるのではないか。

(2) 歴史・文化・伝統を背景とした地域文化創造活動の推進

- ①けいはんなプチコンサートの開催場所がけいはんなプラザであり、実行委員会形式と聞いているが、記述しても差し支えないのか。
けいはんなプチコンサート以外にも、加茂駅東口駅前広場付近で毎年、中高生によりコンサート活動を行っている取組もあるが、これらについても記述してはどうか。
- ②2011年に京都府において、国民文化祭が開催されるが、これに関連した取組や、国民文化祭を活かした文化芸術活動の推進等について記述することができないか。

2 第2章「地域力を活かした産業・事業の創造」に関する意見等

(1) 課題

- ①産業・事業と農業の記述について、一つの項目（“・”）となっているが、分けた方がスッキリ分かるのではないか。

(2) 関西文化学術研究都市を活用した新たな地域産業の創出

- ①新たな企業立地・誘致に加えて、流出防止策の視点も留意することが大切である。
- ②地域ブランドとして、織物・ふすま・お茶等について、京都とは違った全国ブランドの伝統産業の支援・振興などについて、記述してはどうか。

③農業の担い手育成において、女性の位置付け・役割もキーワードである。

3 全体に共通する意見等

①関西文化学術研究都市に関する用語の使い分け・使い方について

○関西文化学術研究都市…旧木津町全域を指します。

○通称の学研都市は、法律上の記述は文化学術研究地区(通常:クラスター)です。また、文化学術研究地区以外の部分は、周辺地区と言います。

②数値目標の記述についても、加えるべきである。

4 審議会後に頂いた意見

(1) 地域産業、観光振興の取組みについて

次に掲げる事項など、総合的な施策の展開が必要。

①多くの観光客が来られているにも関わらず、地元産のお土産がない。食品・農産物だけでなく、工芸品(竹、木、ワラ等)も含めた特産品の開発が必要である。

②特産品を販売する場所が必要である。

③特産品となりうる農産物等の栽培、体験・食べる交流、土産物などに活用する取組が必要である。

(2) 環境を守り、自然と調和した都市の創造について(意見要旨)

①タイトルについて

「環境を守り、自然と共生した持続可能な都市の創造」、又は「環境面からも健全で持続可能な都市の創造」としてはどうか。

②課題と展望について

課題について、地球環境の保全の必要性と循環型・省資源型社会の必要性の2項目に分けて記述してはどうか。

展望について、自然環境や生物多様性の保全、環境権の保障、省資源・省エネルギーなど地球環境に配慮した普及促進等を追加してはどうか。

③施策の展開について

・環境マネジメントシステムの考え方に基づく施策を追加してはどうか。

・環境教育において、環境保全活動等の実施団体のネットワーク化と人材育成・支援を追加してはどうか。

以 上。